

第26回モントリオール世界映画祭正式出品作品

旅の途中で

FARDA

日本・イラン初合作映画

監修 アッバス・キアロスタミ 監督 中山節夫

CAST

宍戸開 オスマン・ムハマドバラスト 保坂尚輝 忍足亜希子 大杉漣 寺田農 松原智恵子

製作総指揮 中村雅哉 プロデューサー 猿川直人 アリレザ・ショザマリ 脚本 横田与志 撮影監督 古山正

製作『旅の途中で-FARDA-』製作委員会 日活株式会社 株式会社バップ 株式会社衛星劇場 中山映画株式会社 BEHNEGAR PRODUCTION DISTRIBUTION

配給 日活株式会社

後援 外務省

協力 在イラン日本国大使館 在日本イランイスラム共和国大使館 伊藤忠イラン会社 丸紅イラン会社 兼松イラン有限公司

協賛 中小企業家同友会全国協議会 伊藤忠エネクス株式会社

گذرگاه فردا!

風のように。星のように。
この国の時間は、静かに流れる。



旅の途中で

FARDA

日本・イラン初合作映画
監修 アッバス・キアロスタミ 監督 中山節夫



イラン。

この遠い国のことを、あなたはどれだけ知っていますか？

人への、いとしさを、しみじみ感じさせられ、
この映画にめぐりあえたよろこびに、わたしの心は震えた。

灰谷健次郎さん

(作家)

イランと聞いてあなたは何を想像しますか？

石油？在日労働者？あるいは戦争でしょうか？

そんな「遠い国」イランには、

実は、人の心を癒す、自然などときの流れがあるのです。

わずか2時間ですが、ゆつくりとイランの

「時の流れ」を感じてください。

この映画を見終えたとき、あなたは心地良い

時間の流れに生きているかもしれません。

想像もつかない国・イラン。

そこにたった一人で行くことになったら？

(解説)

イランの現在を目の当たりにした日本の企業人が、自身自身を問い直し、本来あるべき自分に気づいてゆくこの物語を作り上げるには、両国の現在の状況を、精緻に見つめる視線が必要でした。そのために、現在を見通す、卓抜な視線を持つ両国の映画人が手を組みました。

監修には、『友だちのうちはどこ？』(1987)や、カンヌ映画祭でパルムドールを受賞した『桜桃の味』(1997)などの作品で、イラン映画を一躍世界に広めることになった映画監督アッバス・キアロスタミ。現実ともフィクションともつかない独自の手法が、世界中で評判になりました。

監督は数々のドキュメンタリー映画を手がけ、『原野の子ら』(1999)では、シカゴ国際児童映画祭最優秀作品賞を受賞した実力派・中山節夫。

現在を鋭く描き出す力を持った二人が、日本とイランの間に存在する「時間の流れ方の違い」を確かなタッチで描き、時間と共にある人々の心の差をも描き出していきます。

ストーリー

大手自動車会社から部品メーカーに向出している井沢貴之(穴戸開)は、日々仕事に忙殺される毎日を送り返していた。深刻な不況のなか、井沢がかつてお世話になった町工場の経営者・村田五郎(寺田農)の計報が届く。告別式に列席した井沢に、五郎の娘・浩子(忍足亜希子)は父が残した日記を見せる。そこには強制送還された出稼ぎイラン人メティへの給与未払いを悔いる村田の無念が綴られていた。井沢は、イランに旅立つことを決意する。メティを探し出し未払いの給料を手渡すために。

* * * * *

イランに着いた井沢は、空港で日本から帰国したイラン人親子と出会う。警戒する井沢に、暖かく接する親子。彼等を通して今までイメージしていたものとはあまりにも違うイランの人々の現実に触れていく井沢。井沢は、メティを探し旅をしながら、今までの自分とは異なる感覚が生まれていることを感じていた……

2002年/日本・イラン初合作映画/ドルビー・ステレオ/カラー/106分

今秋、感動のロードショー

特別鑑賞券 ¥1,300(税込) 絶賛発売中!! ●劇場窓口でお買い上げのお客様に、
限定 伊蘭のことわざ入り 悠久の時間を刻む砂時計プレゼント!!

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト3F 06 (6440) 5930

河原町三條上ル・京都朝日会館4F 075 (255) 6760

大丸東側 神戸朝日ビルB 1F 078 (334) 2126

博多駅となり福岡交通センタービル7F 092 (434) 3691